

市民の憩いの場 “やすみ公園”

## 自然と調和し、 安心してゆうゆう暮らす 快適生活都市

### 水と緑

#### 市民に身近な公園を整備

海岸・河川・湖沼などの水辺や樹林・田園などを保護するとともに、鳥屋野湯公園、小針浜を中心としたコースタル・コミュニティ・ゾーンや海辺の森(阿賀北地区)の整備など、市民が水と緑に親しめる環境の整備を進めます。

公園緑地は樹木を持つ貴重な環境であるとともに、市民生活に潤いを与え、市民のコミュニティの場として、また、防災空間としての機能を併せ持つ重要な施設です。そのため、都心部におけるセントラルパーク(白山地区)など市民文化のシンボルとなる大公園や

#### 白山地区に セントラルパーク

#### 緑とふれあいの場

#### 植物園

また、緑とのふれあいの場として、植物園の整備を図ります。さらに、市民のレクリエーションの場として、やすらぎ場をはじめとする河川敷や堤防を利用した緑地・緑道を積極的に整備推進します。

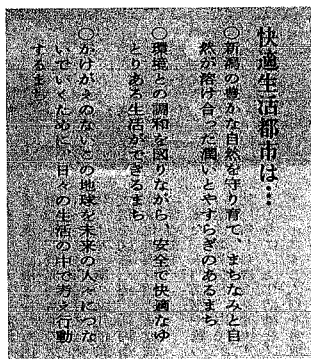
#### 民有地緑化を 促進

緑あふれるまちを創出するため、生け垣の設置に対する助成や街路樹の整備などを進めます。公共施設のほか、御新渚市都市緑化推進協会を中心に、住宅や工場などの民有地の緑化を積極的に推進し、緑のネットワークの形成を図ります。

#### 環境保全

#### 監視体制を強化

良好な生活環境や自然環境を保全するため、環境情報システムを整備など環境問題に対する取り組みを進め、の事前配慮の確立や環境



快適生活都市は...

○新渚の豊かな自然を守り育て、まちなみと自然が溶け合った潤いとやすらぎのあるまち  
○環境との調和を図りながら、安全で快適なゆとりある生活ができるまち  
○かけがえのない地球を未来の世代へつないでいくために、日々の生活の中ででき行動するまち

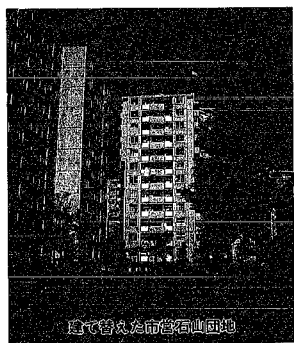
#### 住宅・住環境

#### 良質な住宅を供給

#### エネルギー

住宅は市民生活の基盤となることから、住宅困窮世帯のため、二葉町・曾野木などで、質の高い市営住宅の建設や建て替え(約千七百戸)を進めるとともに、高齢者向け住宅(約百戸)や中堅層向け公的賃貸住宅の供給を図ります。さらに、市民が共同で建設するコーポラティブ住宅の普及を図り、地域特性を生かした個性豊かで良好な住環境の整備を図ります。

市民生活に欠かせない、電力やガスなどの都市エネルギーの安定供給を確保するとともに、地球環境保全のために、低公害車の導入や太陽エネルギーの利用など、環境への影響が少ないエネルギーの利用を促進します。また、ごみ焼却による排熱など未利用エネルギーの有効利用や省エネルギーに



建て替えた市営住宅山田地区

#### 上水道

市街地の拡大や生活様式の変化に対応して、水の安定供給の確保に努めます。

また、安全でおいしい水を供給するため、流域市町村と一体となって河川汚濁防止体制を強化するなどの、より一層、水質管理を充実します。



県・秋に流る川に防犯一歩

#### 防災・消防・防犯

#### 災害に強いまちに



災害に強い安全なまちづくりを推進するため、これまでの大災害を教訓としながら、地域防災計画の見直しを図ります。また、地震など災害時の情報収集・伝達体制の強化を図るため、地域防災無線システムの導入や防災行政同報無線の拡充を図るとともに、生活物資の備蓄を進めます。さらに、大災から市民の生命・財産を守るため、大江山出張所の新設、消防車両の整備、耐震性貯水槽などの消防水利の確保など、消防力の強化・充実を図ります。

#### 下水道

#### 処理区域を拡大

#### 雨水対策を 推進

市民が速やかに下水道を利用できるよう、積極的に下水道処理区域の拡大に努めます。また、私道への下水道整備や水洗化を促進します。さらに、公共下水道事業の対象区域外の地域において、農業集落排水緊急整備事業などを推進します。

雨水の排除については、大雨による浸水被害の解消を目指し、十年に一度の大雨(四十六mm/時)にも対応できる下水道施設への改善を図ります。また、公共下水道対象区域外の地域に

#### 廃棄物処理

#### ごみの減量化 リサイクル

ごみの量の増加やごみの質の多様化に対処するため、五分別収集方式の実施とともに、不燃物破砕選別処理施設などの廃棄物処理施設の整備を進めます。また、焼却施設の負荷の軽減や埋立て処分地の延命化のため、廃棄物の減量化を進めるとともに、資源リサイクルプラザ(下木戸三)を活用して、びん・缶の再利用・再資源化などリサイクルへの取り組みを推進します。

#### 消費生活

消費者の利益を守るため、消費生活情報の収集・提供機能の強化と全国消費生活ネットワークシステムの導入など、消費生活センターの相談機能を充実させます。また、計量の適正化を推進するため、計量器の検査・指導などを進めます。

#### 交通安全

交通事故を防止するため、自らの安全は自ら守るという意識の高揚を図るとともに、市民一人ひとりが交通ルールを守り、ゆとりある心を持って行動できるよう交通安全運動や交通安全教育の推進に努めます。